



町屋二・三・四丁目地区防災まちづくり まちやタイムす

発行：町屋二・三・四丁目地区防災まちづくり協議会
荒川区 防災都市づくり部 住まい街づくり課
編集協力：株式会社 地域計画連合

町屋二・三・四丁目地区 防災まちづくり協議会 令和6年度の活動報告

町屋二・三・四丁目地区防災まちづくり協議会では、本地区のまちづくりの目標である『安全で住みよい、暮らしよいまち』の実現に向け、様々な取り組みを行っています。

令和6年度の第1回協議会では、「自分たちの命を守る道路づくり」に関わる取り組みとして、幅員6mへの拡幅を進めている優先整備路線（B号線）の通称名の募集方法を検討し、イベント「道路の名前を考えるスタンプラリー第3弾」の実施について意見交換しました。

10月13日（日）に実施したイベントでは、優先整備路線（B号線）を歩くスタンプラリーとともに、尾久消防署の方にもご協力いただき、令和6年能登半島地震・平成28年熊本地震に関するパネル展示等も行いました。



第1回協議会（7月12日）



スタンプラリーの様子



尾久消防署による展示の様子



尾久消防署による展示の様子

\\ B号線の通称名が決定！ //

「道路の名前を考えるスタンプラリー第3弾」にてご応募いただいた名称案の中から、通称名を第2回協議会（令和7年1月21日開催）にて検討ののち、委員の皆様の投票により決定しました。

優先整備路線B号線の通称名は **ぼうさい 防災ふれあい通り** です！

今後「まちやタイムす」における優先整備路線B号線の表記は、この通称名で表記してまいります。皆さんからの多くの通称名案をいただきありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

◆今後の取り組み ～優先整備路線の周知も兼ねたイベント等の企画～

上記の通り、本地区にある4つの優先整備路線の通称名がすべて決定しました！
今後は決定した通称名と合わせて本地区のことを皆さんに知ってもらうため、防災や地域の歴史・資源を生かした取り組みを企画実施してまいります。



荒川区からのお知らせ

不燃化特区支援事業は令和7年度までです！

【解体費用助成】



床面積 80 ㎡の場合
最大 2,080,000 円

【設計・工事監理費用助成】



床面積 110 ㎡の場合※1
1,933,000 円

【建設工事費用助成】



床面積 110 ㎡※1準耐火建築物に
建替えた場合 1,551,000 円

※1 1～3階合計の床面積です。

※ 金額は一例です。また、助成制度をご利用いただくには、建物の築年数等の条件があります。その他、不燃化特区の取組みとして、専門家派遣（無料）、住み替え費用助成、固定資産税等の減免等があります。詳しくは窓口へお尋ねください。

みなさまのご意見をお聞かせください！

今後の防災まちづくりのご参考とさせていただく目的で、まちづくりに関するご意見を、Google フォームにて受け付けております。

【ご意見の例】

- ・ 防災に関するご意見
- ・ 建物や建替えに関するご意見
- ・ 道路や公園など公共施設に関するご意見
- ・ 協議会活動やまちづくりニュースに関するご意見 など



※ いただいた意見には原則ご返信しておりませんが、まちづくりニュース（まちやタイムズ）等でお知らせする予定です。

町屋の歴史 ～えんぴつの町～

地区内には多くの町工場がありますが、なかでも鉛筆工場が多かったことが知られています。昭和26年当時、全国の鉛筆生産のほとんどが東京に、そして大部分が荒川区に集中しており、とりわけ町屋付近は多くあったようです。

鉛筆の製造は工程ごとに分業で昭和40年代には町屋に鉛筆工場が70以上もあり鉛筆の生産量日本一を誇っていましたが、現在は数件が残るのみとなっています。



鉛筆工場前の自動販売機（町屋六丁目）

【お問合せ先（事務局）】

荒川区 防災都市づくり部 住まい街づくり課（区役所北庁舎2階⑫窓口）

TEL：03-3802-4319（直通） 担当：木下、松田